

2024年度第3回情報教育研究委員会情報専門教育分科会議事概要

I. 日 時：令和6年9月30日（月）17：00~19：00

II. 場 所：Zoom会議室

III. 出席者：大原主査、藤田委員、北原委員、内山委員、金子委員、佐野委員、矢野委員、小田委員、
齋藤アドバイザー、畑口アドバイザー、光井アドバイザー（事務局）井端事務局長、野本

IV. 議事内容

1. 活動に伴う参加者心得ビデオの確認

- ・ 学生向けの心得について、サイバーフォーラムでの行動規範、情報の取扱い、成果物の3項目を中心に注意喚起を説明しており、良い学びにつながるよう期待するビデオとしており、確認された。
- ・ 完成は、教員から学生になげかける内容であり、教員が話しているということを提示する方が良いとして、冒頭に説明者の大学・身分を紹介してから具体的説明に進むことにし、修正版を後日取り直してYouTubeの限定公開で参加チームに共有することにした。

2. 参加チームの確定とテーマの確認

- ・ 10月11月でマッチング実験を計画し、3大学、3社（PCインストール制限からスマホ・タブレットでの接続）、2団体の参加を予定している。
- ・ Cluster上に作成したWorldのサンプルを確認した。サンプルをもとに各大学で資料を掲載してワールドを構築する予定を確認した。気付いた点としてビデオが再生されているとアバター同士で会話が聞こえない想定され、停止や運用での対応を検討することにした。
- ・ 各cluster Worldの入り口を専用ページに整理したものを確認した。そこには、心得ビデオとチームの入り口とテーマを掲載することにし、clusterでも検索できるようにキーワードとしWorldの名称にCFCを付けることにした。
- ・ チームのテーマについて、一つは、SDGs「質の高い教育をみんなに」として、児童養護施設のネットワーク環境構築および運用の支援によりデジタル学習を推進させ、学習環境格差の解消を図ることを考えている。
- ・ チームのテーマについて、二つは、SDGs「質の高い教育をみんなに」として、小学生向けにプログラミング教育のオンデマンドコンテンツなどの対応でのプログラミングをもっと身近に学べる取組みを考えている。また、別チームでは、SDGs「住み続けられるまちづくりを」として、地域の移動やまちづくりについてウェルビーイングの取組みを考えている。
- ・ チームのテーマについて、三つは、不登校支援対策イベント実施の取組み、専門的技能をAI利用で何等かの障害を持つ人でも作業が可能になる福祉と農業支援の取組みを考えている。
- ・ マッチング試行実験は、clusterにコンテンツの準備完了次第、企業側に案内を行う。予定としては、10月15日を目途に順次スタートさせる予定を確認した。

V. その他(今後のスケジュール)

- ・ SDGsサイバーフォーラム commonsのパイロットプラン（試行実験）は、10月中旬を目途にclusterのWorldを設定し、3大学、3企業、2団体でスケジュール調整の上マッチングを試行する予定にしている。なお、試行実験の報告は、産学連携人材ニーズ交流会で行う予定にしている。